

# 平成29年度 高齢者交通安全対策事業

実施日：3日間(平成29年11月12日、11月24日、12月15日)

参加者：51名

〔 海南市老人クラブ連合会会員 24名  
〔 紀美野町老人クラブ連合会会員 27名

フォローアップ講習会(平成30年2月23日、3月20日) 参加者：39名

海草振興局

# 高齢者の個々の運転技能に応じた交通安全対策事業

海草振興局

## 【目的】

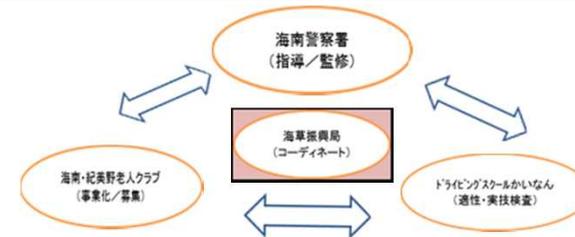
高齢者及びその家族に、現在の運転技能を正確に認識する「気づきの機会」を提供することで、高齢ドライバーの加害事故を防止する。

## 【特色】

地域の老人クラブ、警察署、自動車教習所による協働・実践型の交通安全対策事業  
ドライブレコーダを活用し、個々の高齢者が自分の運転技能を可視化

## 【特徴】

家族ぐるみで運転技能を認識してもらう  
警察官が個別アドバイスをする  
老人クラブが主体的に取り組む  
地元の自動車教習所が全面的協力(無償)



## 【実施内容】

海南署交通課長による  
講習会



教習所指導員の  
運転実技チェック



視力・視野角度チェック



ドライブレコーダー映像をもとに  
海南署警察官による個別アドバイ



# 参加者内訳と運転の状況(その1)

## 【参加者(51名)内訳】

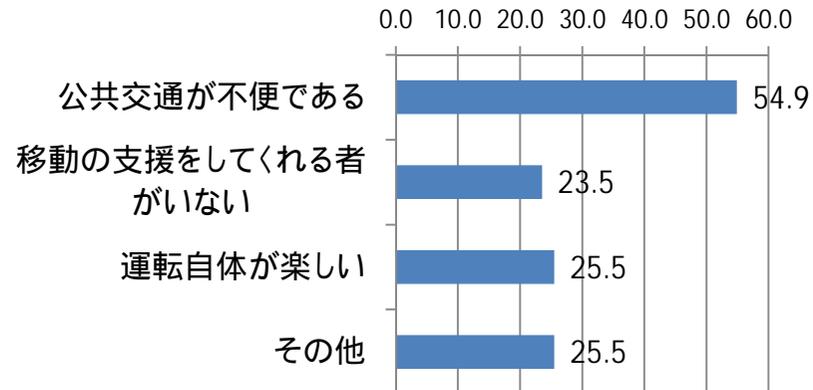
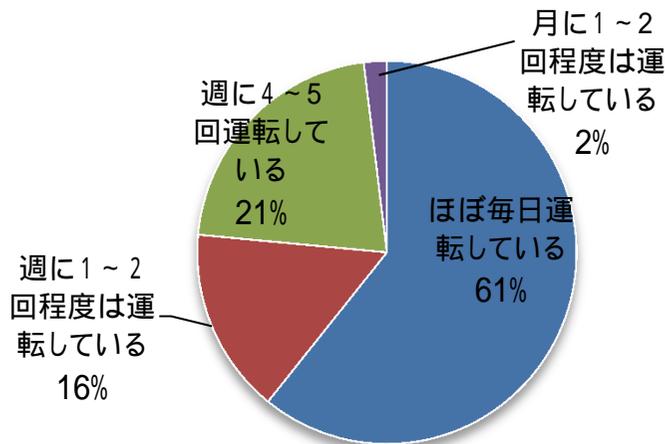
平均年齢 75.5歳

男女比	全体	人数	割合
男性	51	38	74.5
女性	51	13	25.5

年代	全体	人数	割合
60代	51	13	25.5
70代	51	21	41.2
80代	51	17	33.3

最高齢	86
最年少	64

## 【運転の状況と運転する理由】



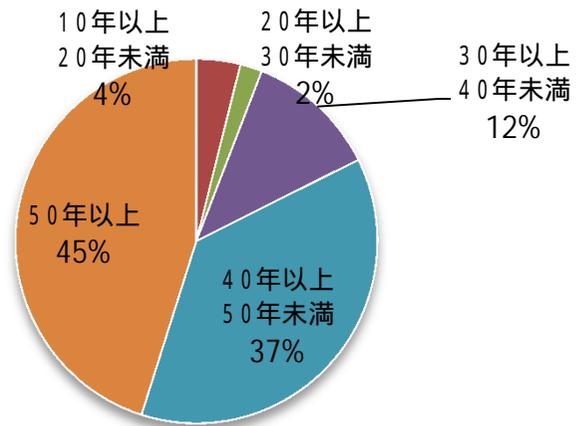
運転する理由については、「公共交通が不便だから」が最も多く、「移動の支援をしてくれる者がいない」を併せると8割近い。これは、紀美野町、海南市ともほぼ同じ。

「その他」については、買い物や通院、農作業、仕事の交通手段で必要という回答の他に、ボランティア活動、地域の役職等の社会活動のために必要という回答であった。また、「運転自体が楽しいから」という回答も約3割近くあった。

高齢者の生活スタイルの多様化により、運転する理由も様々であることが読み取れる。

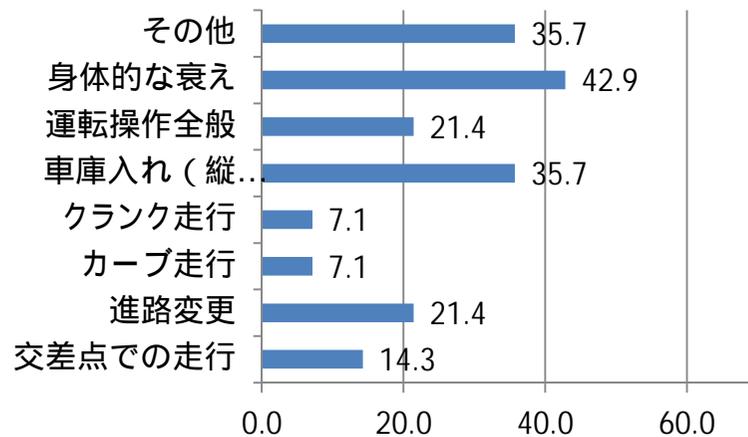
# 事前アンケート(その1)

## 【運転歴について】



運転歴については、40年以上が全体の82%、50年以上も半数近くにもなる。

## 【運転に自信がない人に聞いた不安な点】



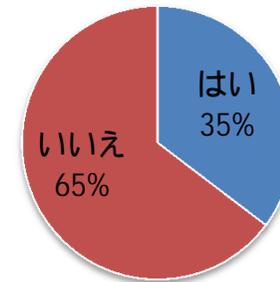
「運転に自信がない」と答えた人の不安な点として「身体的な衰え」が一番多かった。ついで車庫入れとその他をあげた。  
次いで「進路変更」、「運転操作全般」という回答も2割以上あった。

## 事前アンケート(その2)

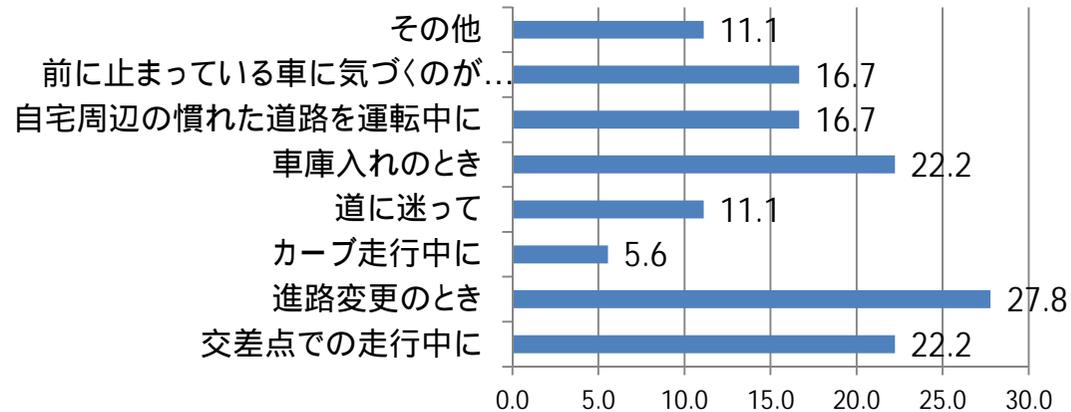
過去3ヶ月以内に運転中にハットしたりヒヤリとした経験はありますか / SA

全体 人数 割合

はい	51	18	35.3
いいえ	51	33	64.7



それはどんなときですか？

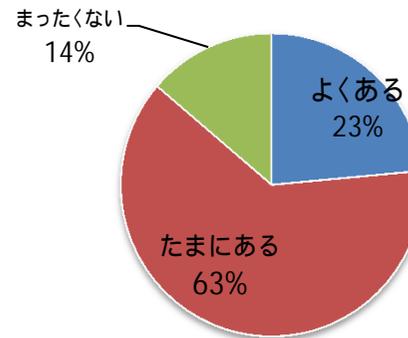


運転中にハットしたりヒヤリとした経験について、3割を超える人が経験ありと答えている。内容については、進路変更のときが一番多く、入庫時や交差点での走行との回答が続いた。

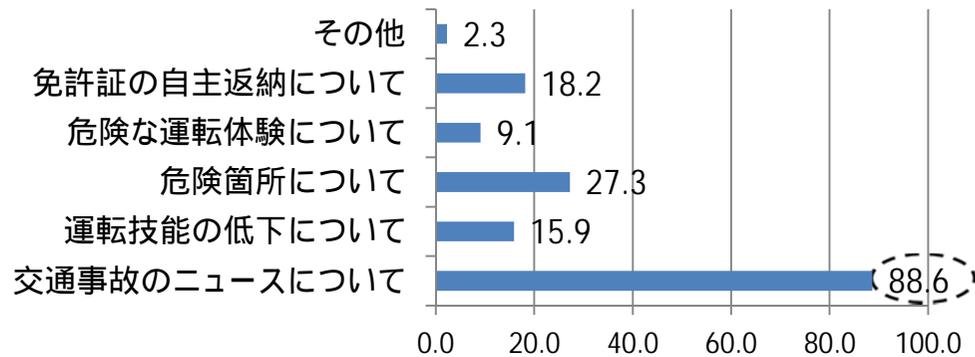
# 事前アンケート(その3)

交通安全について家族と話をすることがありますか / SA

	全体	人数	割合
よくある	51	12	23.5
たまにある	51	32	62.7
まったくない	51	7	13.7



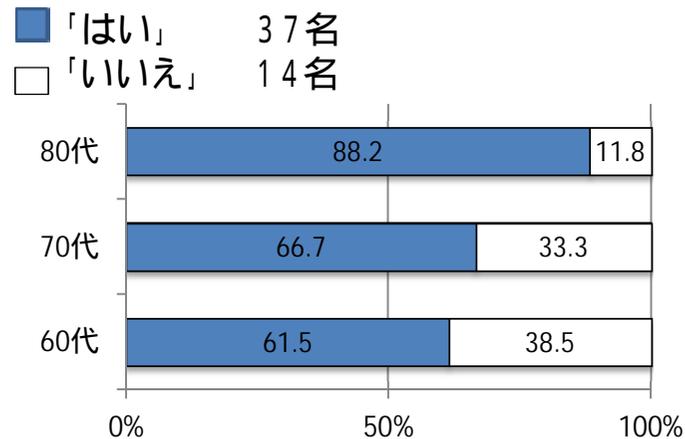
それはどんなときですか？



交通安全について家族と話をすることがある人は全体の9割近い。内容は、「交通事故のニュースについて」が最も多く、「免許証の自主返納について」も全体の2割近くあった。

# 受講結果(その1)

## 【自分の運転について自信がある】

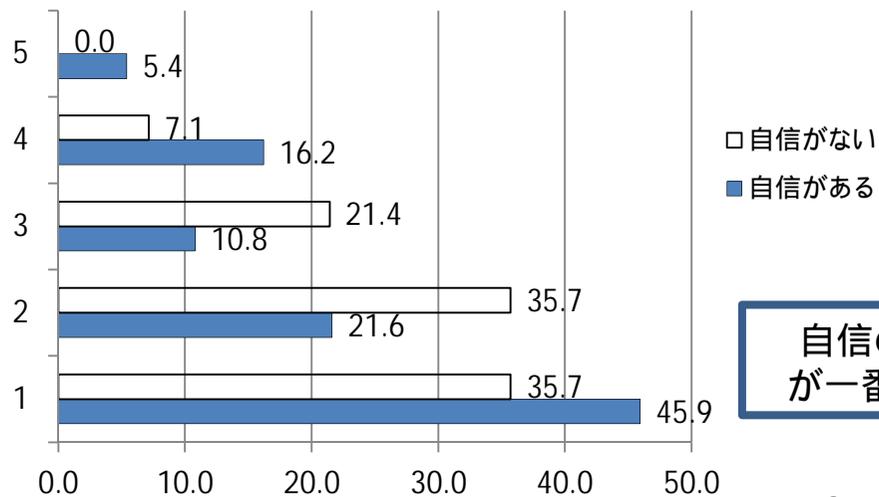


自信がある人は、60代が61%に対し、70代では66%、80代では約88%となっており、高齢になるほど、運転に自信を持つ傾向がみられる。

## 【視力、視野角度結果について】

5...優れている 4...やや優れている 3...普通 2...やや劣っている 1...劣っている

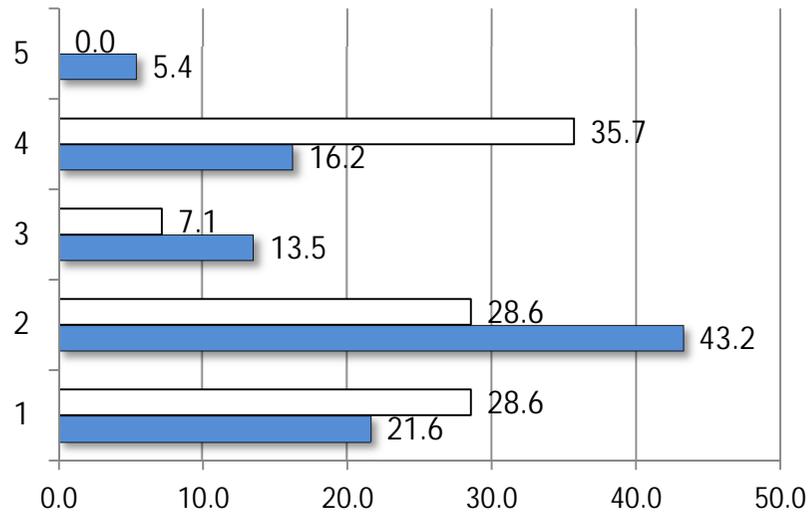
### 動体視力検査について



自信の有無にかかわらず「劣っている」が一番多い。

# 受講結果(その2)

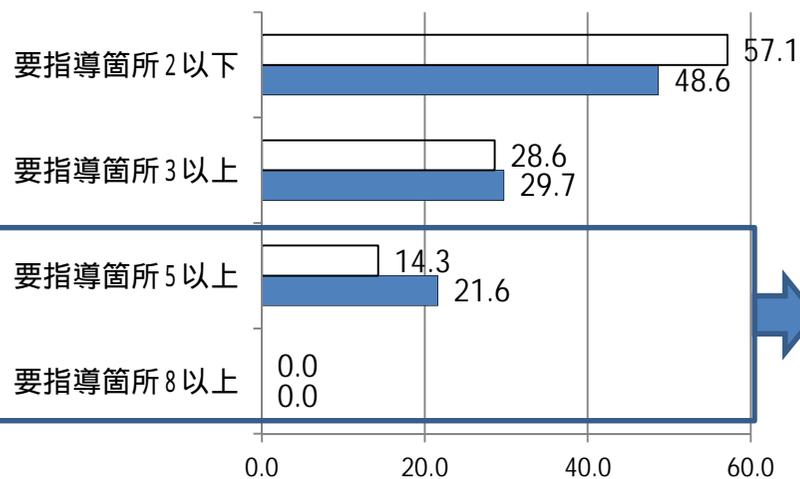
## 【夜間視力検査について】



□ 自信がない  
■ 自信がある

自信のある人の35%が普通以上であるのに対し、自信のない人の43%が普通以上であった。

## 【運転技能検査について】



重点指導項目(9項目)のうち、過半数の5項目以上に要指導がある人は、運転に自信がある人では約22%、自信のない人では14%であった。また要指導箇所が2以下については、自信ある人が半数以下であるのに対し、自信のない人では約6割が該当した。

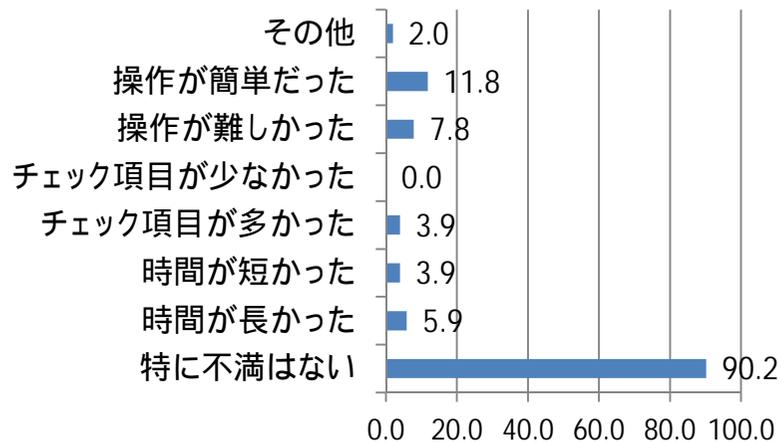
【フォローアップ講習受講対象】

家族同伴での受講を要請

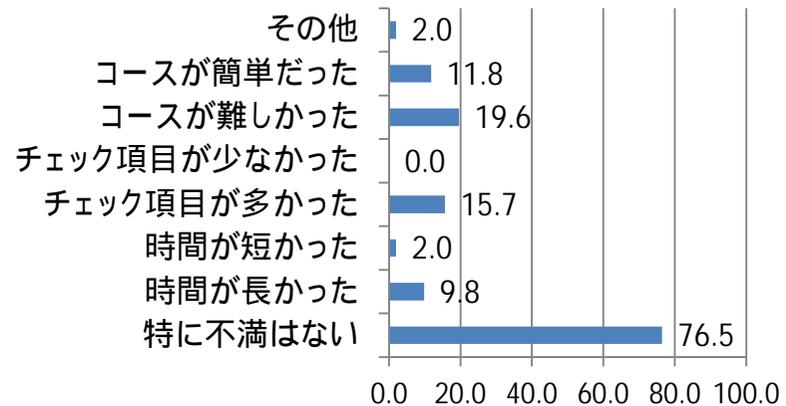
# 事後アンケート(その1)

## 【研修内容について】

「視力・視野角度チェック」はどうでしたか？



「運転実技チェック」はどうでしたか？



その他

・夜間の運転は慎重にしたい

その他

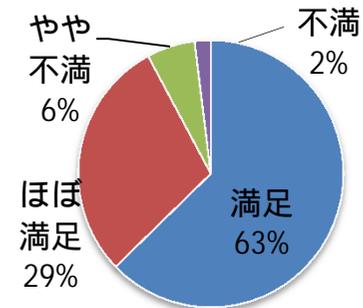
・自分の注意力が足りないことがわかった

視力・視野角度チェックについては9割が特に不満はないと回答。  
運転実技チェックは76%は特に不満がないが、コースが難しいと感じた人が2割近くあった。

# 事後アンケート(その2)

## 「個別アドバイス」はどうでしたか？

	全体	人数	割合
満足	51	32	62.7
ほぼ満足	51	15	29.4
やや不満	51	3	5.9
不満	51	1	2.0
無回答	51	0	0.0



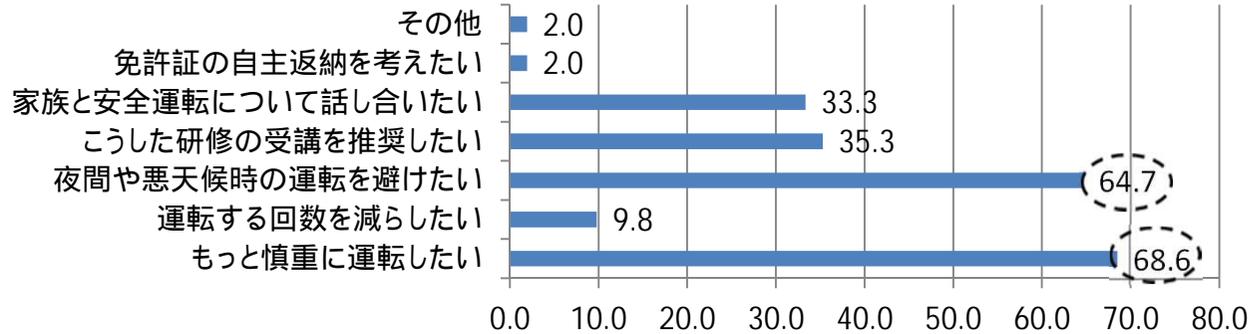
- ・コースでの右折左折の指示はもっと早く出して欲しい
- ・標識が見えにくかった
- ・運転のアドバイスは不満です
- ・運転のコースがわかりにくい、もっと親切に指導してほしい

- ・模範的な運転ができて良かった
- ・自分の運転をドライブレコーダーで視ることができ満足だった
- ・自覚していたとおりのアドバイスだった
- ・加齢による注意点を指導され参考になった
- ・注意点を的確に指摘していただき、今後の運転の参考になった
- ・注意点を指摘され、反省できた
- ・説明がわかりやすかった
- ・アドバイスが親切で丁寧だった
- ・自分でわからないことを指摘していただき良かった
- ・指導が親切だった
- ・先生が良かった
- ・具体的で事実に基づくアドバイスで納得できた
- ・良い点、悪い点をはっきり指摘していただけたのが良かった
- ・自分の気がつかない癖を指導してもらえた
- ・自分の悪いところがよくわかった。注意不足だった
- ・今日参加して非常に良かった
- ・一旦停止について今まで止まっていなかった
- ・有意義な研修でした  
今後更に交通安全に注意して運転したい
- ・自分の体力(眼)の衰えがわかって良かった。自分の運転能力がわかってよかった
- ・家族の助言を聴き、気をつけて運転したいが、回数を減らしたい

個別アドバイスについては、92%が「満足」、「ほぼ満足」との回答である。

# 事後アンケート(その3)

## 【これからの安全運転の取組について】

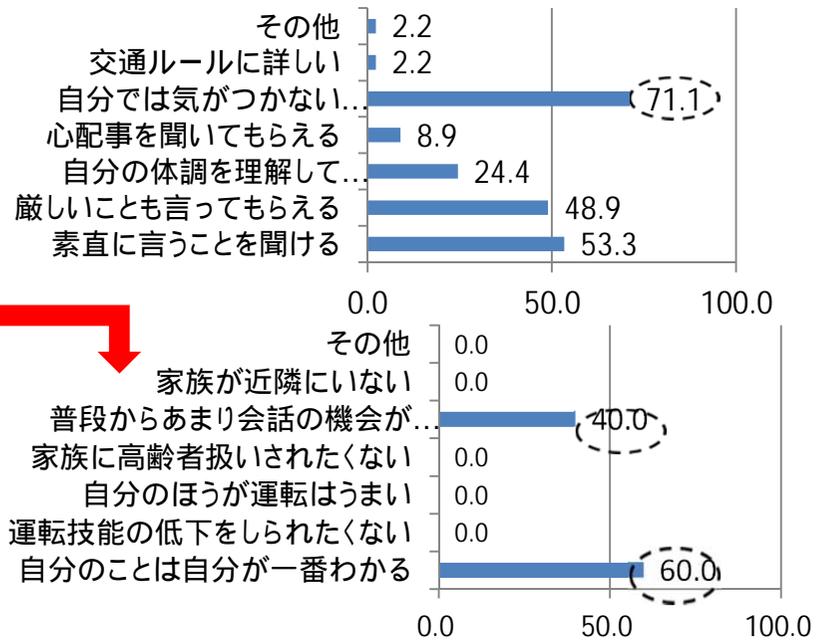


「もっと慎重に運転したい」「夜間や悪天候時の運転を避けたい」と65%以上が回答。  
「自主返納を考えたい」という人が1名いた。

## 安全運転に果たす家族の役割について

	全体	人数	割合
非常に大きい	51	19	37.3
大きい	51	26	51.0
あまり大きくない	51	4	7.8
大きくない	51	1	2.0

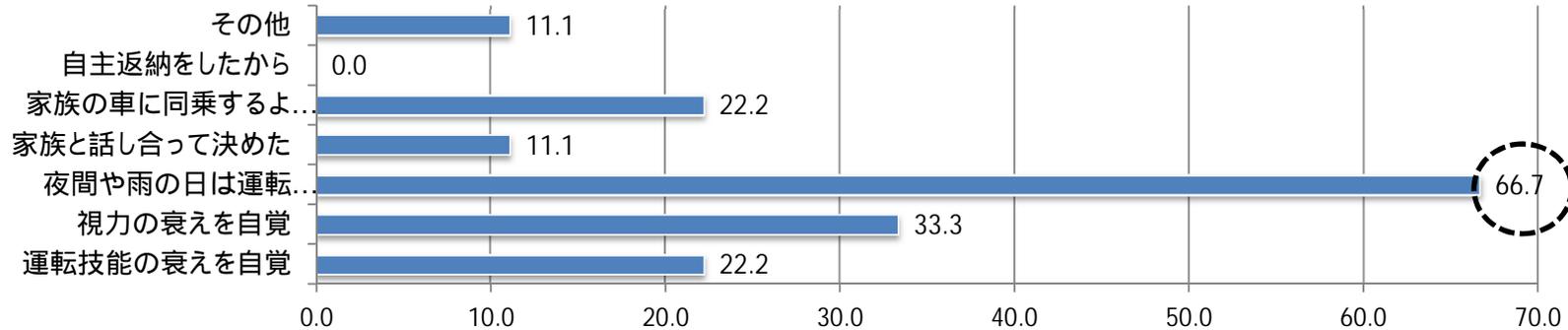
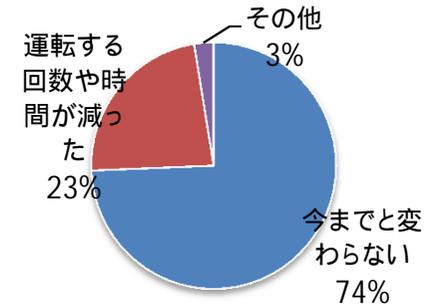
9割近くが、家族の役割について、「大きい」、「非常に大きい」と回答。  
理由については、「自分では気がつかないことがわかる」という回答が71.1%で最も多かった。また、あまり大きくない、大きくないと答えた人の6割が自分のことは自分が一番わかると回答。



# フォローアップ講習会アンケート

## 【受講後の運転の回数や時間について】

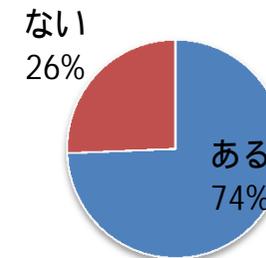
	全体	人数	割合
今までと変わらない	39	29	74.4
運転する回数や時間が減った	39	9	23.1
運転をやめた	39	0	0.0
その他	39	1	2.6



運転する回数や時間が減ったと答えた方の約7割が、夜間や雨の日は運転は控えると答えた。

## 【受講後の運転の変化について】

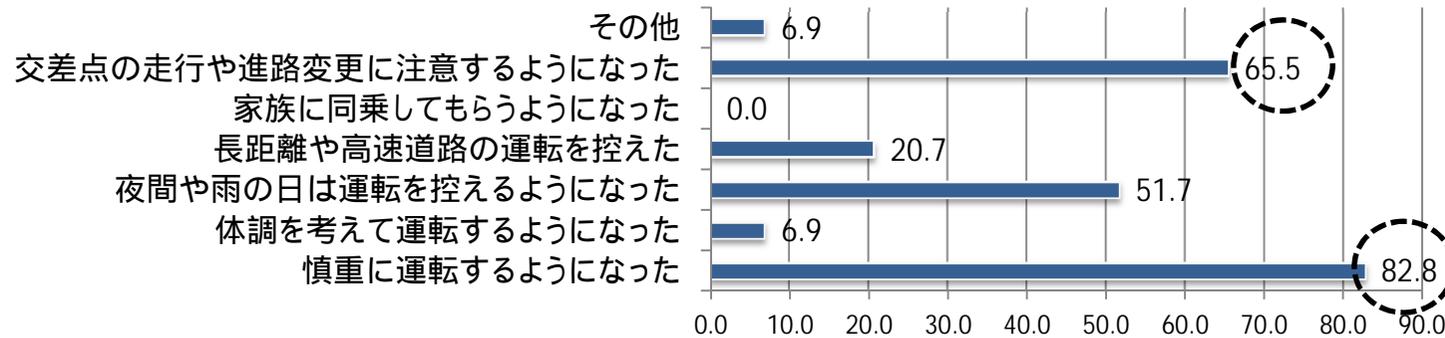
	全体	人数	割合
ある	39	29	74.4
ない	39	10	25.6



受講後の運転の変化については7割以上があると回答

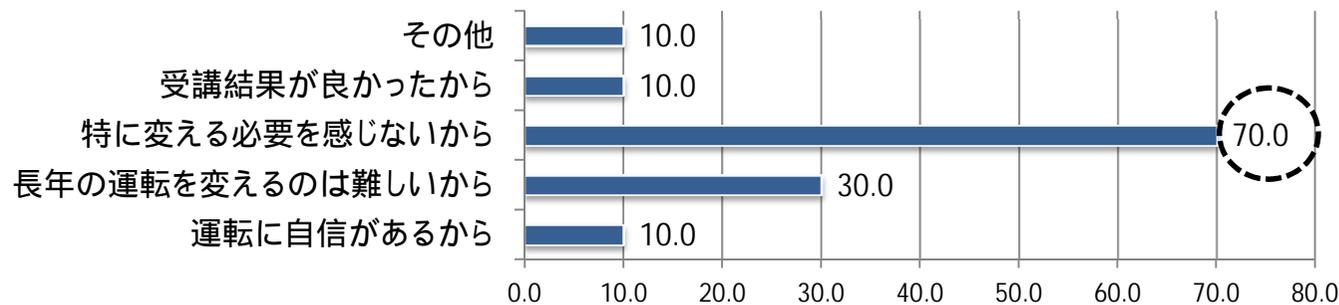
# フォローアップ講習会アンケート

## 【受講後の運転の変化について「あると回答」】



受講後に「慎重に運転するようになった」方が83%、続いて交差点の走行や進路変更  
に注意するようになったと66%の方が回答

## 【受講後の運転の変化について「ないと回答」】



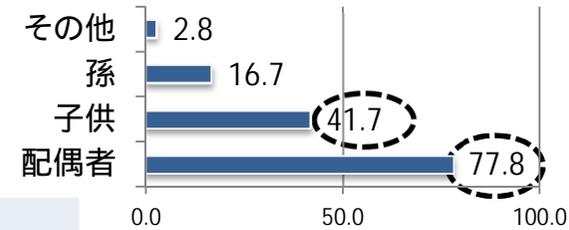
特に変える必要を感じないからと回答した方が7割、ついで長年の運転を変えるのは難しい  
と約3割の方が回答

# フォローアップ講習会アンケート

## 【家族と受講結果について話し合いましたか】

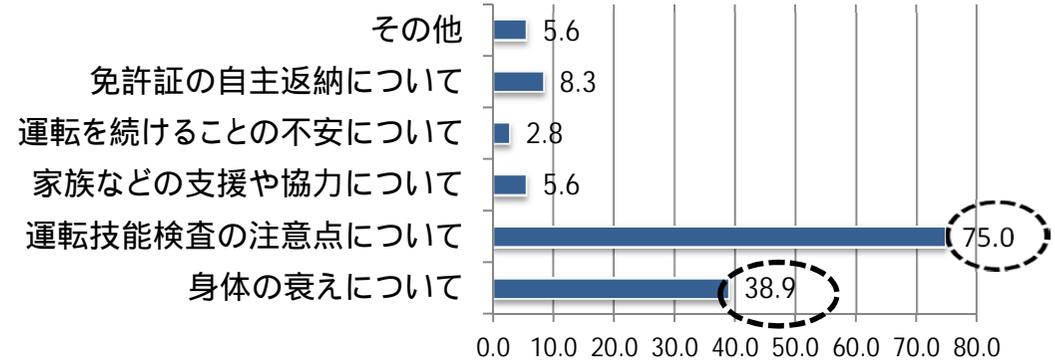
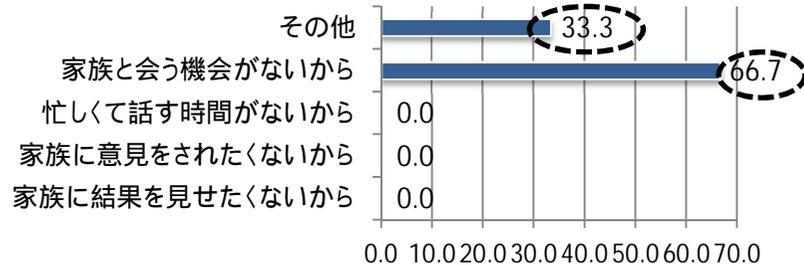
	全体	人数	割合
はい	39	36	92.3
いいえ	39	3	7.7

## 【家族の誰と】



## 【内容について】

## 【理由について】

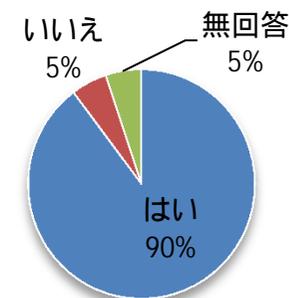


9割以上が受講結果を家族と話合ったと回答。配偶者と答えた方が最も多く73%、また半数近くが子供と回答。孫と答えた方も16%あった。内容については、運転技能検査の注意点が約8割。ついで身体機能の衰えが4割、免許証の自主返納についても1割の方が話合ったと回答。「いいえ」と答えた方は、家族と会う機会がないからが約7割、その他は独居だからという回答だった。

# フォローアップ講習会アンケート

## 【今後、高齢者交通安全講習の受講を勧めたいですか】

	全体	人数	割合
はい	39	35	89.7
いいえ	39	2	5.1
無回答	39	2	5.1



## 【自由記述】

- ・安全運転に気をつけるから、勧めたい
- ・自分を知るため勧めたい
- ・運転技能や身体の衰えについて知ることができ、注意をもらえる
- ・受講により、自分では気がつかないことをいろいろ教えてもらえる
- ・運転技能検査の注意点が、参考になるから受講を勧めたい
- ・自身の運転を見直すよい機会になるから、受講してほしい
- ・家族に迷惑をかけたくない。これからも普通の生活をしたい
- ・長年の自己の運転を見直すのに良い機会である
- ・70歳以上は、年に1回ドライビング・スクールで実技講習(運転)をすることが必要
- ・毎日のように高齢者交通事故がニュースになっている。事故の当人にならないよう交通安全講習を受講し、自分に合った運転をするようになってほしいと思う。特に運転中にヒヤッと回数が多くなった方に、勧めたい
- ・身体の老化(特に視力の低下)を改めて自覚でき、注意し運転するようになった。是非参加してほしい
- ・老化が眼(数字)で確認できる

## 【ポイント】

### 現状について

公共交通が不便で、移動の支援をしてくれる者がいないために自分で車を運転している。(約8割)

高齢になるほど自分の運転に過度の自信を持つ傾向がある。(80歳以上の約9割)

9割近くの人が交通安全について家族と話をしている。

主な内容は、「交通事故のニュース」について。「免許証の自主返納」についても2割近くあった。

### 検査結果について

運転について自信の有無に関わらず、動体視力についての衰えが顕著である。

運転実技検査については、重点指導項目のうち、過半数以上に要指導のある人は、運転に自信がある人では約22%、自信のない人では14%であった。また要指導箇所が2以下については、自信ある人が半数以下であるのに対し、自信のない人では約6割が該当した。

### 受講後の意識変化について

#### ～研修当日～

受講者の多くが、これからの運転をもっと慎重に運転したいと考えている。(約7割)

家族の役割について、大多数が、大きい、非常に大きいと考えている。(9割)

理由は、自分では気がつかないことがわかるからが最多。

#### ～フォローアップ講習時(受講後3～5ヶ月後)～

受講後運転の変化があった。(7割以上) そのうち83%が慎重に運転するようになったと回答。

運転する回数や時間が減った。(23%)

家族と受講結果について話し合った。(92%) そのうち8%(3名)が免許証の自主返納についてと回答。

## 【まとめ】

受講する前と後では、安全運転意識が大きく向上した。

身体、視覚の衰えを自覚することで、安全運転への動機づけができた。

家族の役割については、高齢者自身が認識しており、事故防止について、家族ぐるみで考える機会を提供できる。